

■復旧・復興工事のスケジュールについて

資料 6 参考2

		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度以降	
復旧	インフラの復旧対応状況 [道路・下水道復旧工事] (土木部)	道路・下水道復旧工事					
復興	街区単位の液状化対策 (都市政策部)	第1回・第2回 全体説明会 自治会単位の説明会 (随時開催)	試験施工・概略設計 意向確認	詳細設計	対策工事 試験施工の結果を踏まえて詳細設計を行う必要があり、 対策工事の前倒しは不可能（最速で令和10年から） 同意取得		

■街区単位の液状化対策 対策工事のイメージ

[標準断面図]

液状化対策実施範囲

公道

歩道 路肩 車道 路肩 歩道

民地

道路復旧工事

現在の地下水位

電話線 (地表面から0.6m程度)

ガス管 (地表面から0.8m程度)

水道管 (地表面から1.0m程度)

下水道管 (地表面から2.5m程度)

目標の地下水位 (地表面から概ね3m以上低下させる)

鋼矢板

集水管 (地表面から5m前後を想定)

※正確な位置は、詳細設計後に決定。

[対策工事(推進工法)のイメージ]

①地中へ立坑を押し込み、立坑内の土砂を掘削します

②立坑底部にコンクリートを施し立坑の設置が完了

③発進立坑内に推進機を設置後、先導管で土砂を掘削しながら、鋼管を押し込む

④钢管内に集水管を設置

⑤集水管設置後、钢管を引き抜き、人孔(マンホール)を設置し、工事完了

■推進工法とは…

地面を掘削せずに地中に管を布設することができる工法であり、周囲の環境や既存のインフラに与える影響を最小限に抑えることができます。

①先導管 先端で土砂を掘削する機械

②集水管設置状況 鋼管内に集水管を設置

集水管 地下水を集める管

【出典元:金沢市】